

情報かわら版

川崎市立小学校情報教育研究会
会長 井部良一(富士見台小学校)

平成27年11月 第5号
担当 下小田中小学校 鈴木 聡

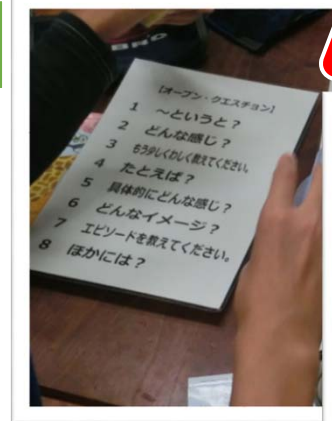
第2回授業研究会が行われました

平成27年11月18日(水)、川崎市立下小田中小学校にて、第2回授業研究会が行われました。当日は、6年社会科「日本とつながりの深い国々」と、6年国語科「随筆を書こう」の2本立ての授業が行われ、活発な研究討議が行われました。

6年1組 逸見級「随筆を書こう」

本時の学習目標は、「自分にとっての『大切な言葉』を見つけよう」。オープンクエスチョンを意図的に取り入れることで、和気あいあいとした雰囲気の中での話し合い活動となりました。

思考ツールとして、ホワイトボードをグループ活動で利用し、話し合いの中で出てきた言葉を書き留めていきました。そうして自分たちの中から掘り起こしていった言葉をもとに、自分の忘れられない言葉を選び、随筆を書く活動へと繋げていきました。



情報活用の実践力
あつめる力

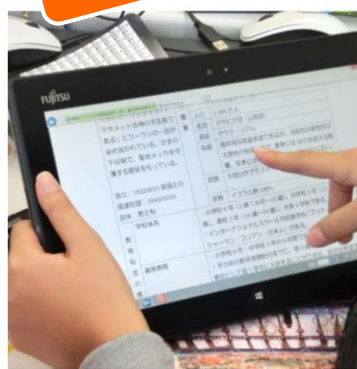


情報活用の実践力
なかまわけする力

6年4組 宮里級「日本とつながりの深い国々」

中国・韓国・アメリカ・サウジアラビアの暮らしについて、あらかじめ調べてきたことを仲間分けする時間でした。データチャートや色分けされた付箋を使って調べた「日本との共通点」「とっておきの情報」「その他の情報」について、話題ごとに画用紙にまとめていきました。データチャートを使って調べることで、情報を「あつめ」ながら、「なかまわけ」も自然と意識できたので、本時での活動がより活発なものとなりました。

調べ学習にあたっては、情報を意図的に厳選したインターネットのリンク集のほか、川崎市立図書館 中原図書館からの授業支援セット（団体貸出）も活用されました。



指導講評

指導講評では、川崎市総合教育センター情報・視聴覚センターの栃木指導主事と、椎名指導主事からお話を頂きました。普段から気軽に使うことの積み重ねによって、ICTで伝える良さを子ども達が実感し、学びの質が向上していくことや、そもそも情報活用能力が身についていないと、様々なICTやメディアを効果的に活用することができないこと、オープンクエスチョンなどのスキルは、日常的な積み重ねによって身についていくことなどのお話を頂きました。

ビデオ映像創作展 地区審査迫る！（12月2日@総合教育センター）

第35回ビデオ映像創作展の審査が、12月2日に迫りました。地区担当へのめ切は過ぎてしまいましたが、事前連絡の上、12月2日14時に川崎市総合教育センターに持ち込んで頂ければ応募できます＆一緒に審査できます。教育活動の中で生まれた作品を、ぜひ共有しましょう。